

将来像

悠久の歴史と賑わいの空間で織りなすハイブリッド 都市「くにさき」



近年、ハイブリッドという言葉は、「異なる方式を一つの組織の中にうまく組み合わせる」という意味で使われています。この将来像は、ハイブリッド車が、ガソリンエンジンと電気モーターのように、国東市も「これまでの悠久の歴史に彩られた国東の文化や自然空間」と「多様な企業誘致の空間（都市的拠点空間等の創出）」をうまく組み合わせ、多くの人が住みたい、住んでみたい企業、団体、行政が協働して作って（織りなす）行く「くにさき」の姿をイメージしています。

み込むこと。（新明解国語辞典）」とを組み合わせ、高性能を得ているや産業・芸術文化振興による賑わいと思うような魅力あるまちを市民や

基本目標

地元力充実、定住力促進、新活力創出で人口増加都市「くにさき」を目指します。

下のグラフは、かなり衝撃的なもので、国立社会保障・人口問題研究所（国立の政策研究機関）が平成22年までの国勢調査をもとに平成52年までの人口をある方法により予測したものです。平成22（2010）年に「32,002人」あった人口が、平成52（2040）年には「19,277人」になると予想されています。

また、国東市は、男女性比（女性人口を100とした男性指数）が平成47（2035）年の段階で100を超えています。つまり、この年までに男性の人口が女性の人口を上回るといことです。さらに、このような結果が出ている大分県内の自治体は、国東市が唯一となっているという現実があります。

国東市の人口と将来推計人口の推移と男女性比（女性人口を100とした男性指数）
出典：国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月推計



目標達成のための重点戦略プロジェクト（政策大綱）

- 福祉・安全・子育て 地元力充実プロジェクト
- 出会い・移住・担い手 定住力促進プロジェクト
- 新産業・賑わい・観光 新活力創出プロジェクト

国東市には、厳しい現実がありますが、本市としては、この8年間で「将来像」や「基本目標」を実現し、何としても人口減少予測が現実とならないような結果を出す必要があります。本市の人口を増加に転じさせることを最大の目標として、基礎的な公共サービスの提供を前提とした上で、目標達成のために「地元力充実」「定住力促進」「新活力創出」の三つの力（次ページ参照）を高める施策を推進して行きます。



▲表紙

国東市は、平成18年3月31日に国見町、国東町、武蔵町、安岐町が合併して誕生しました。平成20年には「第1次国東市総合計画」を策定して総合的かつ計画的なまちづくりを推進してまいりましたが、近年の急速な人口減少時代への突入や東日本大震災など、我が国の社会構造は、その根幹を揺るがす、かつ

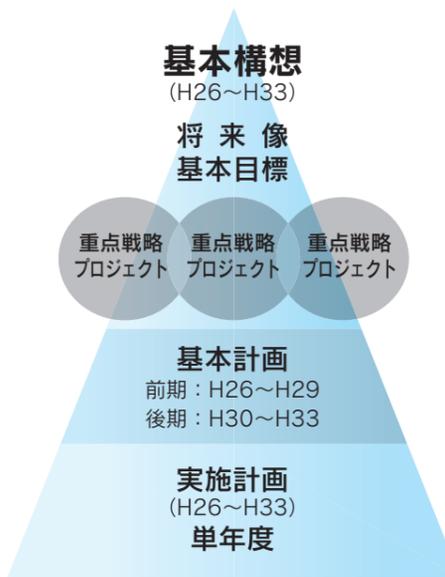
この計画は、多くの方からのご意見を参考にして策定されており、国東市地域審議会、有識者懇話会、アンケート（回答2,390人）、意見募集等を経て、国東市総合計画審議会からの答申を受けて「国東市議会」に提案し、議決された計画となっています。

てないほど大きな変化を見せています。半島先端・中央部に位置する本市は、交通・産業・生活環境の整備等の面で多くの課題が残されており、他市町村以上の急激な人口減少が予測されています。このような時代背景や新庁舎建設事業等に見られる情勢に鑑み、新しい時代に相応しい本市の総合的な指針を示した計画が必要との判断から、第2次国東市総合計画を策定することとしました。これからの数年間は、自治体として重要な時期となることが予想されます。国東市としても、この計画の「将来像」や「基本目標」の実現に向け、市民や企業、団体の皆さまと協働して各種施策に取り組んでまいります。

総合計画とは、これからの国東市をどのようにしていくのか、その緩やかな方向性を行政として描いたまちづくり指針となるものです。

この計画の構成は、基本構想と基本計画からなっていて、その期間は、基本構想8年、基本計画4年の前期・後期となっています。基本構想には、目指すべき「将来像」や「目標」に向けた政策大綱などの理念が、基本計画には、基礎的公共サービスも含めた詳細な施策が記述されています。また、4年に一度は施策本来の目的を図るために「市民満足度調査（アンケート）」を実施し、国東市議会とともにこの計画を見直すことが規定されています。

第2次国東市総合計画構成図



第2次国東市総合計画を策定しました

